

頼高市長のあったか市政を問う

一般質問

3月定例会では16・17・18日の3日間で14人の議員が、市政に対する一般質問を行いました。



議長
松本 徹



あったか市政を問う

一般質問



7月から耐震化工事を行う市民体育館・北町公民館

梶原 秀明 議員（日本共産党） 市民体育館・北町公民館 工事中の対策

議員 体育館・北町公民館が耐震化工事のため、7月から1年間使えなくなるが、代替施設の対策を求める。

教育部長 近隣市の複数の体育施設のほか、松原会館は59歳以下も（和室）利用可。保健センター（2階健康教育室、寧幸会の特養ホーム、藤サンクチュアリ（北町5丁目、火・木曜日のみ、総合社会福祉センター（3つの集会所）が利用可。暫定的な措置としてサンクチュアリの利用料は無料。松原会館、社会福祉センターは利用料の減免を調整中。

議員 町会などの備品利用に配慮してほしい。

教育部長 お祭りなどで使う長机・イスなどは、従来どおり使用できるよう、工事業者と協議する。町会倉庫も使えるよう調整する。

議員 図書のリeturnボックスを利用できないか。

教育部長 返却ボックスを工事中も使えるように、工事業者と協議したい。

聴覚など障害者福祉 改善を

議員 福祉サービスの補聴器は使いづらいつとの声があるが、どう考えるか。

健康福祉部長 補聴器の支給は、本人の申請により、医師の意見書などの調書を、県で審査して支給を決めている。本人の希望に添えない場合もあると聞いているが、県の基準による制度であるので、ご理解いただきたい。また、補聴器は5年を超えた場合、交換できることも周知したい。



かじわら ひであき

議員 国・県の基準を改善する必要がある。「来客のチャイルドなどを振動等で知らせる屋内信号装置などは5年間で9件の支給」とのことだが、制度を知らない人がいるのではないか。

健康福祉部長 聴覚障害者140人への周知を徹底できるように検討したい。

議員 4月施行の障害者差別解消法への対応はどうか。

健康福祉部長 合理的配慮が義務付けられる。相談窓口を障害者福祉係におく。

クールオアシスの いっそうの周知を

議員 7月から9月まで公民館等で涼むことができるクールオアシスを、保健センターでも実施していることをもっと知らせてほしい。

総務部長 クールオアシスは市内13の公共施設で実施している。保健センター等での掲示がよりいっそう分かりやすくするように改善に努める。

空き家・老朽空き家の 解消に向けて

議員 老朽空き家等の安全管理に関する条例が施行されたが、その後の経過はどうか。

都市整備部長 空き家に関する相談や情報提供の件数は26件であり、すべて実態調査を行い、解体が2件、改善が6件となっている。その他の事業では所有者に対し、改善に向けた働きかけを継続して行い、うち1件は条例に基づく助言・指導を行っている。

議員 平成25年の統計調査では、市内の空き家が5千200戸以上存在しているところ。環境問題、税収増、市内活性化



空き家の解消に向けた施策の検討を

のため、空き家解消の施策を検討すべきと考えるが、当局の考えはどのようか。

総務部長 本市の空き家の半数以上は賃貸用や売却用で、入居者が決まっていない住宅である。空き家の有効活用は、人口減少対策や税収増も見込まれる一方で、不動産業者等利害関係を持つ方々の協力が不可欠であり、引き続き有効な対策のあり方を研究したい。

選挙制度変更への取り組みと「こども議会」について

議員 投票年齢が18歳に引き下げられたが、この対象になる方々への周知をどのように図るのか。

選挙管理委員会委員長 これまでに市のホームページにおいて、総務省の特設ページの閲覧などによる情報提供や各公共施設への啓発ポスターの掲示による周知を行っている。今後は、これまで20歳の誕生日を迎える方々に送付していた「選挙啓発用パスデーカ

ード」を、18歳の方々に送付することなどを考えている。



みわ かずよし

議員 児童・生徒に政治や選挙、地域によりいっそうの関心を持つてもらおうべく「こども議会」を開催してはどうか。

教育長 こども議会を開催し、行政の仕組みや議会の役割などを学ぶことは、小・中学生にとつて大変意義のあるものと考えている。開催には関係部署や学校との協議が必要となり、慎重に検討したい。

議員 市内の公園が各所で老朽化し、危険箇所も見受けられるが、状況把握と解消に向けた対応をどう考えているか。

都市整備部長 職員による巡回、または専門業者による定期的な点検を実施して状況の把握に努めるとともに、施設の不良や故障などにより、公園管理上危険と判断した場合

には、速やかに使用の中止や修繕などの対応をしている。

一般質問

情報発信力の強化こそ 「住みたいまち蕨」への一歩

議員 地域ブランドは、その地域にある魅力を形にし、しっかりとイメージをつくることで差別的優位性と評判信頼構築、信頼連鎖、この3つを成立させることが重要だと思っている。蕨ブランド認定制度の内容と効果はどのようなものを想定しているか。

市民生活部長 内容としては、蕨らしさを有し、品質も含め一定基準を満たしたものを蕨ブランドとして認定することを考えている。また、効果としては認定した商品を市内外に向けて広くPRしていく、蕨ブランドの普及と品質の向上を促進し、地域産業の振興を図っていくとともに、蕨ブランドの発信を通じて、市のPRにつなげていきたい。

議員 子育てしたいまち情報冊子はいつまでにつくり、内容はどのようか。

総務部長 秋ごろまでに制作し、蕨の文化や歴史などの地域資源の紹介をはじめ、保育園や学校、公園、買い物などが近くて便利なことなど、子育てにうれしいポイントをまとめた情報を掲載する。

議員 子育て世代向けの情報をウェブページで一元化できないか。

総務部長 子育てに役立つ子育て専用のウェブページを秋ごろに開設予定である。

議員 防犯・防災情報について、県内のほとんどの市はメール配信サービスを実施している。本市の現状はどうか。

市民生活部長 防犯情報は、埼玉県警察本部でメール配信サービスがあり、市内の犯罪情報メールなどをパソコンやモバイルで受信できるため、この登録について今後も周知する。防災情報は、県の防災情報メール配信サービスがあり、登録することで気象警報、地震情報、避難情報等を受信できるほか、大手3社の携帯電話を所持している方は、市が配信する緊急速報メールを受信することができる。

議員 蕨市PRビデオは、どのような内容でつくる予定か。歴史や文化、豊かなコミュニティ、利便性の高さをあわせ持つ蕨の魅力を知っていただけるような内容の映像を制作し、インターネット



子どもたちの笑顔あふれるまちづくりに向けて



ふるかわ あゆみ

高齢者の日常生活を支える体制づくり もう一つ必要です！地域包括支援センター！

議員 平成28年4月から始まる「介護予防・日常生活支援総合事業」におけるサービス事業で「住民主体による支援」とあるが、多重化、高齢化している市内ボランティアや主体となり得る団体の活用は可能なのか。

健康福祉部長 市内にはシルバー人材センター、にぎわいまちづくり連合会、生活協同組合などによる生活支援の活動があり、それぞれボランティアの主体になり得ると思われるが、総合事業の実施に当たっては、こうした市民の自主性に根ざした取り組みを尊重しつつ、新しい総合事業における受け皿となっていたことが重要と考えている。

はいかがが。

健康福祉部長 現在市内では、くるるで開催している「介護交流サロン」、中央公民館と市民ボランティアが協働運営している「ホッとおしゃべりサロン」、東公民館の「介護おしゃべりサロン」の3か所で実施されている。また、市ではこうした「介護サロン」を広く周知しながら、関わり方について検討していきたい。

議員 中学校区程度の日常生活圏域に1つという目安や独居高齢者の漸増という現状から、2025年に向けて稼越地区にも、地域包括支援センターが必要だと思いがいがが。

健康福祉部長 本市の第一、第二地域包括支援センターが



おいしい けいこ

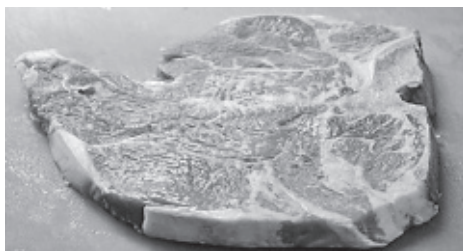
担当する地区の面積は、近隣市と比較してもコンパクトである。また、地域包括支援センターを増やすことで、高齢者がさらにセンターを訪れやすくなる一方、人的資源を分散しないほうが安定した運営にはメリットがあり、このバランスが肝要だと考えている。今後市内各地区の高齢者人口や社会情勢の変化等を見据えながら、検討していきたい。

粗大ごみ収集について

議員 収集券の販売を商店街やコンビニエンスストアに委託して、土日及び平日の夜にも購入しやすいようにできないか。稼越地区の日中働いている人は、まったく購入できない状況がある。

市民生活部長 近隣市では、収集券1枚当たりおおむね販売額の1割程度の手数料がかかっている。経費等にも考慮し、販売時間の拡大及び委託販売について研究したい。

あつたか市政を問う



ふるさと納税は金持ち（高額納税者）ほど多くの返礼品がもらえる（写真はイメージ）

榎本和孝 議員（無所属） ふるさと納税の問題点について

議員 ふるさと納税は、後で税金が安くなり、実質2千円で返礼品が受け取れるなどの問題点が指摘されている。本市の取り組みは。

総務部長 平成24年に条例を作り、PRしてきた。また、平成28年度から民間のポータルサイトを活用し、返礼品を用意するなどを予定。

議員 全国的に返礼品の過熱合戦になっている面もある。本市の返礼品はいくらぐらいのものをご想定しているのか。

議員 半額程度を予定している。

議員 ポータルサイトを通じて集める予定だが、さいたま市では、サイトへの手数料が8%と判明し、問題となった。本市はどのようか。

総務部長 見積もりをとったサイトの手数料は12%の見込みだが、今後決めていく。

議員 いくらなんでも高すぎるのではないか。ふるさと納税に、蕨も乗り遅れてはまずいというだけの認識でやっているのか。市長としての問題点の認識と今後の展望は。

市長 本来はふるさとを応援しようとするものだが、ごこの故郷というより、いくらで何を手に入れるかが目的となり、趣旨に逸脱してきているのではないかと懸念。しかし、蕨の税収減につながりかねない側面もあり、現実的な問題として、返礼品などの対応は必要だろうという思いなどから取り組んでいく。

議員 国に対して、市として問題点を指摘すべきだ。



えのもと かずたか

若者をとりまく環境について

議員 ブラックバイトについて、例えば市のホームページで相談窓口の一覧が表示できるようにできないか。

市民生活部長 ホームページ充実の必要性は認識している。見直しの際に考えたい。

議員 市長は先日の中学校の卒業式において、蕨市は若者を応援するまちであるという趣旨の発言をした。奨学金の問題を含め、市としてできることをこれでもかとやっていくべきだと考えるがいかがか。

市長 ブラックバイトについては生活困窮から、辞めたくても辞められないということもあるのかもしれない。奨学金は多くの課題があるが、国の改善を期待したい。現状は、今ある市の制度がきちんと周知・利用されるようにしたい。

ほかに 「自殺対策」高齢者の免許証自主返納「中高生の居場所づくり」について質問。

入室希望が急増！ 留守家庭児童指導室の拡充を



新たに中央小学校内に開室した留守家庭児童指導室（中央地区B館）

議員 全国的に学童保育の希望が増えている。今年度、蕨市では留守家庭児童指導室（学童保育）が新たに2室（中央小、東小）開設されるが、希望者の状況はどうか。

健康福祉部長 前年度と比べ、新規申し込みは市内合計で47人の増、継続も同47人の増となり、全体で94人の増となる。二丁では上昇傾向。

議員 今年度は、南小、塚越小、北小の各学区で開設に向けた整備が行われるが、留守

家庭児童指導室増設の効果はどうか。どの程度の整備か。

健康福祉部長 少なくとも4年生までは待機がないよう計画を進めたい。

議員 今後の整備に当たっては、直営の堅持を基本として行うことを要望する。そのためにも、指導員の待遇改善や研修等の充実が必要と考える。

健康福祉部長 指導員確保に努めるとともに、待遇改善、研修の充実等は検討したい。ただし、指導員確保が難航し開設できない状況では、業務を委託する可能性もある。

議員 蕨市が、他市に比べて特に少ない状況とはいえないが、対象を6年生まで拡大した制度の変更や急速な希望増加への対策はいつそう重要になる。児童の放課後の居場所対策について、他施策との連携を含め検討を要望する。

介護などの相談窓口 や案内の充実を

議員 介護等の相談窓口対応



はどのように行われているか。

健康福祉部長 相談内容により、制度紹介や説明ではなく、個別の支援が必要な場合は、地域包括支援センターへの相談を案内している。

議員 制度的にはその通りだが、その対応が「たらい回し」と認識される事例もあり、丁寧な説明・連携が必要。地域包括支援センターについては、相談窓口としての認知度を向上させることや、分かりやすい名称への変更などの対応が必要と考える。

ところで、在宅での介護に当たる家族どうしの交流についてはどのような状況か。

健康福祉部長 市内3か所の「介護サロン」があり、希望者に案内している。

議員 交流は大切な「支え」と聞く。周知の努力を。また、家族へのアンケートや調査も行うよう要望する。

ほかに 「大規模災害時の地域防災」と「スタンバイプの訓練の実施」について質問。

一般質問

市民体育館等大規模改修工事に伴うLED化と施設代替への対応を問う

議員 これまで市民体育館等の耐震化を言及してきて、今年度予算で耐震補強及び大規模改修工事がやと着手されるが、その際、施設代替措置とLED化はどうされるのか。

教育部長 市民体育館と北町公民館の代替施設となり得る施設として、北町を除く6つの公民館をはじめ、保健センターや総合社会福祉センター、自治会館等、市内各公共施設のほか、近隣の川口市、戸田市、さいたま市のスポーツ施設等を一覧にし、各利用団体代表者の方へご案内した。

照明器具のLED化について、現時点ではアリーナを含めた施設全体の照明をLED化する計画であり、ランニングコストをはじめ、消費電力などの削減に努めていく。

民間マンション等の耐震診断について

議員 1981年（昭和56年）の新



大規模改修に伴い照明がLED化される市民体育館

耐震基準以前に建てられた老朽化したマンションが市内に42棟あると聞くが、地区別の棟数及び耐震診断の実施状況はどうか。

都市整備部長 錦町に2棟、北町に8棟、中央に13棟、南町に6棟、塚越に13棟の計42棟となっており、うち2棟は耐震診断及び耐震改修を実施している。

議員 耐震診断補助金の拡充や耐震工事への補助制度の創設を検討してはどうか。

都市整備部長 耐震診断補助金の増額や耐震改修に対する補助制度を設けることは、建



築物の耐震化の促進を図る上で、有効な施策の一つであると認識している。他市の動向などを踏まえながら、調査・研究していきたい。

市立病院の未払い診療費への対策について

議員 市立病院における未払い診療費の滞納整理の一環として、入院保証金制度やクレジットカード決済の早期導入を検討してはどうか。

病院事務局長 入院保証金制度は未収金対策として一定の効果があるが、単身の救急搬送患者への対応などの課題もあり、入院全般としての保証金制度の導入には至っていない。今後、他の公立病院での導入状況を注視しながら、引き続き調査・研究したい。

クレジットカード払いの導入については、機器の設置費用や医事会計システムの改修など、幾つかの課題があり、費用対効果などを調査し、検討していきたい。

わらびりんご公園の 改修と適切な維持管理を



わらびりんご公園は楽しいな♪

ージが不明確で、途中経過も公開されておらず、市民や議会が意見表明をする機会もなく、不満である。今年度の計画策定に当たっての市長の大方針は何か。

参考までに、存在感大きな街 ビッグシティ藤を目指すための、ファシリティ・マネジメント大方針保谷私案11項目を開陳する。「財政負担と便益の平準化」「財政負担の長期的な極小化」「防災面の強化」「民間への移行を進める」「施設の複合化・他用途への転用を進める」「受益者負担の原則の拡大」「子ども関連の優先」「他市町村との競争においてハードで張り合わない、ソフトで勝負する」「強力に情報公開すべし、広く会議を興し公論に決すべし、適宜見直すべし」「資産を極力持たずに減らす、最適化を図る」「将来の近隣市との合併論議再発の可能性を視野に入れておく」

市長 藤市は交通の利便性の高さに加えて、歴史、文化、



ほや たけし

コミュニティ等の豊かさも併せ持つていくという良さがある。その良さは今の人口減少社会、真の地方の時代の中では非常に強みとなり、その強みを生かしてまちづくりを進めるなかで、人口を維持しながら、公共施設の適切な維持保全、社会インフラの整備民間の積極活用、財政健全化など、将来と現在のバランスをよく考えながら、しっかりと対応していきたい。

小・中学校の空き教室の有効活用について

議員 子どもの減少による空き教室の多用途転用を進めるために、財産区分を変更してはどうか。

教育部長 将来とも恒久的に余裕と見込まれる余裕教室はなく、一時的余裕教室はゆとりある充実した学校生活の実現に役立てられている状況であり、学校施設内の教室を市長部局に移管するなどし、多方面に転用することは難しい。

あつたか市政を問う

「国土強靱化地域計画」の策定について

議員 行政の取り組みとしての国土強靱化は、市民を守る上で最重要課題であり、事前防災における最大の防衛計画である。この計画が未完成であつたり、破られたら、市民の生命、財産を守ることが難しくなると私は考えている。国土強靱化地域計画の策定の取り組みについて、現在どこまで進んでいるのか。

Wi-Fiステーションの整備について

28年度に策定する地域計画の動向を注視するとともに、情報収集に努めたい。

議員 避難所になる学校や公民館において、情報収集のためのWi-Fiはとても有効なツールだと思う。また、学校施設に設置することは、ICT教育の観点からも必要だと考える。総務省所管の観光・防災Wi-Fiステーション整備事業を利用し、市内公共施設や避難所等に、市内公共施設や避難所等に、市民が無線LANの整備はできないか。

総務部長 防災面では、発災時のインターネットアクセスの提供やWi-Fiの設置箇所に応じた情報発信などの効果がある。

議員 行政の取り組みとしての国土強靱化は、市民を守る上で最重要課題であり、事前防災における最大の防衛計画である。この計画が未完成であつたり、破られたら、市民の生命、財産を守ることが難しくなると私は考えている。国土強靱化地域計画の策定の取り組みについて、現在どこまで進んでいるのか。



Wi-Fiステーション整備のイメージ

議員 避難所になる学校や公民館において、情報収集のためのWi-Fiはとても有効なツールだと思う。また、学校施設に設置することは、ICT教育の観点からも必要だと考える。総務省所管の観光・防災Wi-Fiステーション整備事業を利用し、市内公共施設や避難所等に、市民が無線LANの整備はできないか。

健康福祉部長 27年度は、社会福祉の増進に努めていただいている民生委員を対象に養成講座を実施した。今後の予定は、医療・福祉等の関係者や町会・ボランティア等に幅広く講座等を周知し、ゲートキーパーの育成に努める。



おおいし こういち

自殺対策におけるゲートキーパーの養成を

議員 ゲートキーパーとは悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげ、見守る人のことである。自殺をしてしまうくらい悩んでいる人とゲートキーパーをマッチングさせ、自殺を未然に防ぐことはとても重要だと思う。ゲートキーパーの育成目標はどうか。

再生可能エネルギーの活用について



再生可能エネルギーのさらなる検討を

議員 今後、工事が予定されている公共施設に太陽光パネルや風力発電などの再生可能エネルギーシステムの設置をどのように検討しているのか。

総務部長 現時点では、新たな建物を建築する際に、計画段階から導入を検討する場合を除き、太陽光発電の対象となる施設は限定的であり、費用対効果の点でも課題が多いものと考えている。

議員 脱原発をめざす首長として、再生可能エネルギーの活用をさらに推進する姿勢が大事だと思っている。市民体



こばやし りき

育館については、どういう具体的な議論をしたのか。

市長 市民体育館については、安全を確保するというのが今回の改修の最大の目的である。基本的な耐震化プラス、多くの人が集まり、一定の広い屋根がある施設では、それが落ちたにより被害が甚大であり、対策が求められるというなかで、なるべく軽量化するということが意を用いている。

議員 蕨のような人口密度の高い市で、再生可能エネルギーに取り組むということは、非常に難しい面があるが、引き続き鋭意研究をしていきたい。

議員 予算編成に当たり、次年度の改修、修繕工事の予定はどのように決められるのか。

総務部長 義務的な経費などの経常的経費は優先せざるを得ず、これらを確保した上で、公共施設の改修工事や道路補修等の投資的経費、臨時的経費の計上を行っていくことになる。この予算の枠の中で、公共施設の改修工事については、安全性の確保を最優先に、担当課に施設の現状や損傷の度合いなどを確認し、予算査定を行い、予算案を作成する。また、修繕は経常的経費に含まれるが、経常的経費全体の中で、改修工事と同様の観点で予算査定を行っている。

議員 今年度、消防の塚越分署において、耐震診断設計が実施されるということだが、防災会議でも、消防委員会でも、塚越分署の耐震化に対する議論を聞いたことがなかった。今回実施することになったプロセスはどのようなものか。

総務部長 これまで小・中学校や保育園、避難所に使う公民館等の順番で耐震補強を進めてきた。塚越分署については「建築物の耐震改修の促進に関する法律」の特定建築物ではないが、防災拠点の一つという考え方で、耐震診断を実施するという結論に至った。

一般質問

多文化共生について

議員 県は、「日本人と外国人の双方が文化的、宗教的背景などの立場を理解し、共存、共生を図る考え方が重要になっている」として、平成24年に計画期間5か年の「埼玉県多文化共生推進プラン」を作成した。蕨市は外国人の割合が6.3%で県内で最も高い。多文化共生について、独自の計画をつくる考えはないか。

総務部長 「コンパクトシティ」将来ビジョンの分野別計画の一つに掲げて取り組んでいる。今後推進を図る。

議員 市役所窓口で外国人への対応はどう行われているのか。

総務部長 8か国語での電話仲介通訳事業を実施している団体を活用している。

議員 外国人向けの総合的な相談窓口を設けて、目立つ看板を掲げてはどうか。

総務部長 市役所1階市民生活動推進室で様々な相談を受けている。窓口の表示の仕方等より効果的な運用を研究する。

議員 日本語が話せない児



ボランティアの方々による日本語教室（中央公民館）

議員 市立病院での無料低額診療事業について

議員 お金がないため病院に行けないという人をなくすために、社会福祉法に規定されている無料低額診療事業を市立病院で実施してはどうか。

病院事務局長 診療費自己負担分の減額分が当院負担になり、経営に影響が及ぶことが考えられる。調査・研究する。

議員 生活保護を申請した人の診療費について、保護が決定するまでの間は健康保険の自己負担分を徴収しているが、とらないようにできないか。

病院事務局長 保護申請しても却下される人もいる。未収金を防ぐために、いただいている。

議員 手持ち金が少ない、体調が悪くても受診を控える人もいる。未収金になるといつ心配より、病院に行けないという人のことを考えなければならぬと思うが、預かり金をとらないようにできないか。

病院事務局長 経営と生活保護者への対応との両面から考える。状況によって丁寧に対応していきたい。



みやした なみ

不登校対策や特別支援教育の充実を求める

議員 不登校児童・生徒の状況はどうか。さわやか相談室等に登校している児童・生徒の状況はどうか。

教育長 2月末現在、小学校9名、中学校30名が30日以上欠席。保健室へは3名、さわやか相談室へは21名、適応指導教室へは10名が通学。

議員 教育センターの新設やスクールソーシャルワーカーが配置されるが、どのような役割を果たしていく考えか。

教育長 問題を抱える児童・生徒への働きかけ、学校におけるチーム体制の構築、保護



福祉・児童センター内にある教育センター

者・教職員等に対する支援・相談及び情報提供、教職員等への教育相談研修などの業務に従事し、教育相談、就学相談体制の充実を図る。

議員 塚越地域から南小の特別支援学級に通学して来ている児童数はどうか。特別支援学級を設置する基準や増設の見込みはどうか。

教育長 南小学校には知的障害学級に3名、自閉症・情緒障害学級に4名。塚越地区からは1名ずつの計2名が通学している。特別支援学級は1名からでも設置できるようにしたので、児童・生徒の増減や保護者のニーズを踏まえながら、今後考えていきたい。

議員 特別な支援を必要とする児童・生徒の状況はどうか。児童数の増加から、特別支援教育支援員の増員を図っていく考えはないか。支援員の65歳までという年齢制限は見直すべき。

教育長 小学校90名、中学校43名。支援員配置に伴う教育



やまわき のりこ

効果は認識しているが、予算上の課題もあり、検討課題とする。年齢制限は検討したい。

待機児童をなくして子育てを応援するまちへ

議員 入園を不承諾となった人数はどうか。公立保育園での定員拡大など緊急の対策が必要だと思うがどうか。

健康福祉部長 不承諾者数は49人（昨年度から86人減少）。小規模保育で定員の余裕があるので、0歳から2歳児までは小規模保育を利用してもらうようなマッチングを行い、対応していきたい。

福祉入浴券の拡充を

議員 入浴券を戸田市の浴場でも使用できるようにしてほしい。

健康福祉部長 市内に4件ある公衆浴場からは、市内での使用に限らせていただきたいとの回答であったが、引き続き協議を進めていきたい。

あつたか市政を問う

片側歩道の道路路側帯整備を進めるべき！

議員 市内には片側が歩道で、その反対側に路側帯のない道路があるが、その路側帯のない側に面している住居では、家を出てすぐのところが車両が通行し、とても危険である。路側帯の整備を早急に進める考えはあるか。

市民生活部長 安全対策として、市民の方から路側帯設置の要望があった場合には、現地調査をした上で、道路関係部署や警察署と協議し、その必要性を検討し対応を図る。

議員 路側帯のカラー化は、安全・安心への効果があるが、対応していきたい。



路側帯などの整備を行い安全なまちづくりの推進を

進展させる考えはあるか。

市民生活部長 路側帯への着色は、交通事故を防止することを目的に設置するものであり、整備に当たっては、歩行者や車両の交通量を把握し、必要性や費用面なども勘案して検討していきたい。

議員 道路関係予算の増額を検討し、道路環境の整備を進めてほしい。

災害時への備えの充実を

議員 避難所運営訓練をどのように実施し、今後働きかけていくのか。

市民生活部長 27年度、新たに塚越小学校において、蕨市避難所運営マニュアルをもとに複数の町会、PTAの方々と学校教職員の合同で実施したところであり、今後は他の地域においても計画したい。

議員 災害時にも使える非常用電話回線の設置はどうか。

市民生活部長 小・中学校10校、公民館7館、福祉・児童



ひき こうじ

センター、蕨高校に非常用電話回線を設置し、非常時に使用できるような整備を進める。

公園管理と公園自主管理団体等への支援について

議員 公園の除草、剪定等の作業が実施される時期を関係者等に事前に周知できないか。

都市整備部長 樹木の生育状況等を見ながら、実際に作業に入る時期を決めていかざるを得ないという状況があるが、特に大がかりな作業で、公園利用者に影響が出るものについては、効果的な周知方法等を検討していきたい。

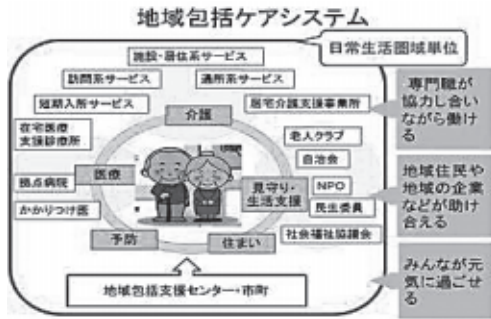
議員 新たに花壇植栽中心の活動団体への支援を行う考えはあるか。

都市整備部長 花苗の配布を通じて、支援をしていくというところは可能かと思うが、現在活動している自主管理団体との違いも生じることから、代表者会議等で、皆さんからご意見を伺うなど、検討していきたい。

「地域包括ケア・コンパクトシティ」の実現を！

議員 新しいサービスを充実させた高齢者の方々の生活支援体制が求められることになるが、制度的な受け皿は、どのように作ろうとしているのか。

健康福祉部長 28年度中に設置する生活支援体制整備のための協議体において、蕨市の高齢者に必要となるサービスの種類や提供方法、本人負担等について検討し、新しい総合事業への参加意向がある事業者等とも情報交換を行いながら、制度の受け皿づくりを



健康福祉部長 28年度中に設置する生活支援体制整備のための協議体において、蕨市の高齢者に必要となるサービスの種類や提供方法、本人負担等について検討し、新しい総合事業への参加意向がある事業者等とも情報交換を行いながら、制度の受け皿づくりを

健康福祉部長 28年度中に設置する生活支援体制整備のための協議体において、蕨市の高齢者に必要となるサービスの種類や提供方法、本人負担等について検討し、新しい総合事業への参加意向がある事業者等とも情報交換を行いながら、制度の受け皿づくりを

蕨駅東口コミュニティ・ショッピング道路の整備について

議員 道路整備を進める上で地元商店会等の意向は重要であると考えますが、これまでの説明及び検討、その後の調整は、どのようなか。

健康福祉部長 処遇困難ケースへの助言、同行訪問といった技術的な指導や、市と2つの地域包括支援センターとの情報共有及び連携の場である定例会の実施などを通して今後も支援していきたいと考えている。

議員 これからますます相談業務が増えるであろう地域包括支援センターへの支援について、どのように考えているか。

度には、この方針を基にした実施設計を進めており、今後は地元商店会等に対して最終的な設計内容を説明することにも、円滑に工事が実施できるように調整していきたい。



度には、この方針を基にした実施設計を進めており、今後は地元商店会等に対して最終的な設計内容を説明することにも、円滑に工事が実施できるように調整していきたい。

議員 道路整備は市の単独事業となったが、一体的に整備すべきであろう隣接する末広公園の整備は、国の補助金の活用を検討すべきであると思うがどうか。

理事 総務省の中心市街地再活性化特別対策事業の対象となる施設整備の例として「良好な都市・居住環境と街並み景観の向上に資する施設の整備」ということで、ポケットパーク等というものがあり、要件に合致すれば起債の対象となると考えている。28年度は、末広公園のリニューアル化の設計と並行して、他にも活用できる制度がないかどうかを検討していきたい。

ほかに 「市内の低未利用地の有効活用と市有地の開発」について質問。

あつたか市政を問う 一般質問

議会中継をご利用ください

平成27年9月定例会より、インターネットによる本会議中継（ライブ中継・録画放映）が始まりました。蕨市議会ホームページからいつでも簡単に、スマートフォンやタブレットでも視聴することができますので、ぜひご利用ください。

○ホームページの利用方法

市議会のホームページは、蕨市のホームページ（<http://www.city.warabi.saitama.jp>）とリンクしています。まず、蕨市のホームページをお開きください。次に、蕨市議会をクリックすると、簡単にご覧になれます。

蕨市議会初！議会報告会を開催しました

平成28年5月22日（日曜日）に、市民会館において、蕨市議会では初めてとなる「議会報告会」を開催しました。当日は、たくさんの市民の皆様にご参加いただき、ありがとうございました。

今回の「議会報告会」の内容や市民の皆様からいただいたご意見等の詳細については、準備が整いしだい、市議会ホームページに掲載します。また、市議会だよりでは、編集の都合上、次回の9月号に掲載する予定です。



6月定例会の日程（予定）

6月3日(金)	開	会	17日(金)	一 般 質 問
7日(火)	質	疑	20日(月)	〃
8日(水)	委	員	21日(火)	〃
9日(木)	〃	会	23日(木)	閉 会
10日(金)	〃			

※議会の都合により日程は変更になる場合があります。
【問い合わせ】議会事務局 電話（433）7733（ダイヤルイン）

議会だより編集委員会を開催しました

3月17日	「6月発行号の概要・議会報告会について」
3月24日	「議会報告会について」
3月30日	「〃」
4月4日	「〃」
4月15日	「〃」
4月22日	「〃」
5月9日	「〃」
5月11日	「6月発行号の最終確認について」
5月23日	「議会報告会について」

平成28年3月定例会における議案等に対する賛否結果

議案番号	議案名	新生会	共産党	公明党	民主党	無所属	結果
陳情第3号	子ども医療費無料化と国民健康保険財政調整交付金削減のペナルティをやめることを求める意見書の提出を求める陳情書	×	○	×	○	○	不採択
陳情第4号	政府に対し若者も高齢者も安心できる年金制度の実現を求める意見書の提出を求める陳情	×	○	×	○	○	不採択
議案第1号	蕨市行政不服審査会条例	○	○	○	○	○	原案可決
議案第2号	行政不服審査法の全部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備等に関する条例	○	○	○	○	○	原案可決
議案第3号	蕨市消費生活センターの組織及び運営等に関する条例	○	○	○	○	○	原案可決
議案第4号	職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	原案可決
議案第5号	蕨市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	原案可決
議案第6号	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	原案可決
議案第7号	議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	原案可決
議案第8号	蕨市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	○	×	○	○	×	原案可決
議案第9号	行政委員会委員等の報酬及び費用弁償支給条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	原案可決
議案第10号	市長及び副市長の諸給与支給条例及び蕨市教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	原案可決
議案第11号	職員の給与に関する条例及び蕨市公営企業職員の給与の種類及び基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	原案可決
議案第12号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	原案可決
議案第13号	蕨市手数料条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	原案可決
議案第14号	蕨市税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	原案可決
議案第15号	蕨市災害派遣手当等の支給に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	原案可決
議案第16号	蕨市火災予防条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	原案可決
議案第17号	蕨市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	原案可決
議案第18号	蕨市地域包括支援センターの職員に係る基準等を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	原案可決
議案第19号	蕨市福祉・児童センター設置及び管理条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	原案可決
議案第20号	蕨都市計画中央第一地区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	原案可決
議案第21号	蕨市道路占用料条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	原案可決
議案第22号	平成27年度蕨市一般会計補正予算（第4号）	○	退席	○	○	×	原案可決
議案第23号	平成27年度蕨市一般会計補正予算（第5号）	○	○	○	○	○	原案可決
議案第24号	平成27年度蕨市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	原案可決

平成28年3月定例会における議案等に対する賛否結果 (前頁より)

議案番号	議案名	新生会	共産党	公明党	民主党	無所属	結果
議案第25号	平成27年度蕨市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	原案可決
議案第26号	平成27年度蕨市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	原案可決
議案第27号	平成27年度蕨市公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	原案可決
議案第28号	平成27年度蕨都市計画事業錦町土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	原案可決
議案第29号	平成27年度蕨都市計画事業錦町土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	原案可決
議案第30号	平成27年度蕨市介護保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	原案可決
議案第31号	平成27年度蕨市介護保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	原案可決
議案第32号	平成27年度蕨市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	原案可決
議案第33号	平成27年度蕨市公共用地先行取得事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	原案可決
議案第34号	平成28年度蕨市一般会計予算	○	○	○	○	○	原案可決
議案第35号	平成28年度蕨市国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	原案可決
議案第36号	平成28年度蕨市公共下水道事業特別会計予算	○	○	○	○	○	原案可決
議案第37号	平成28年度蕨都市計画事業錦町土地区画整理事業特別会計予算	○	○	○	○	○	原案可決
議案第38号	平成28年度蕨市介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	原案可決
議案第39号	平成28年度蕨市後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	原案可決
議案第40号	平成28年度蕨市公共用地先行取得事業特別会計予算	○	○	○	○	○	原案可決
議案第41号	平成28年度蕨市立病院事業会計予算	○	○	○	○	○	原案可決
議案第42号	平成28年度蕨市水道事業会計予算	○	○	○	○	○	原案可決
議案第43号	教育委員会教育長の任命の同意について	○	○	○	○	○	同意
議案第44号	埼玉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増加及び同組合の規約変更について	○	○	○	○	○	原案可決

※議案第1・2・3・4・5・8・23・29・34・36・38・41号については質疑が、議案第8・22号については討論が行われました。質疑・討論の詳細な内容は蕨市ホームページの「蕨市議会」からご覧になることができます。

※「民主党わらび」は4月9日付で「民進党わらび」に名称を変更しています。本紙では、3月定例会時点で表記しています。

編集後記

早いものであつたという間に6月になってしまった。書棚にあった歳時記を紐解いて見ると、「から衣 着つつなれにしましあれば はるばる来ぬる たびをしぞ思ふ」と言う和歌が目にとまった。在原業平の歌で「伊勢物語」に出てくる作品です。言葉を知り尽くした者でしか出来ない作品である。だからこそ、千年以上経った今でも多くの人に愛されているのだろう。

言葉と言えば、ここ数年テレビアナウンサーの言葉遣いが気になる。その度、テレビに向かってばやいていると家人からは、「仕方が無いでしょう」と言われる。果たして、指摘をする筆者が悪いのか、それに気付かぬ者が悪いのか。筆者達の仕事は、言葉を発信するところに大きな意味がある。それ故に間違った言葉の発信は現に慎まねばならない。常に綺麗な言葉で、発信したいものである。

議会だより編集委員会

委員長 大石 幸一
副委員長 梶原 秀明
委員 保谷 武
大石 圭子
榎本 和孝
松本 徹
三輪かずよし